

# 令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

|      |     |     |           |     |        |
|------|-----|-----|-----------|-----|--------|
| 学校番号 | 236 | 学校名 | 仙台市立西山中学校 | 校長名 | 狩野 富士子 |
|------|-----|-----|-----------|-----|--------|

- 1 取組のタイトル、テーマ  
「“仕組み”と“もの”を新しく。」



## 2 取組の紹介

### (1) 美化活動の実施

今年度は、11月に全校生徒で校庭の草取りを行いました。昨年度はクラス毎に担当場所に分かれて取り組みましたが、今年度は学年の垣根を越えて、1組、2組、3組、4組と4つのグループに分けて取り組みました。この美化活動の翌日が運動会であり、上記のような組対抗での競い合いのため、美化活動もその組ごとに活動することで、異学年との絆を深めることができました。自分たちできれいにした校庭で運動会を行うということで、生徒たちも一生懸命に草取りをすることができました。

「美化活動の様子①」



「美化活動の様子②」



### (2) 古紙回収BOXとプラスチックごみ用ごみ箱の設置

古紙回収BOXを各教室に配置し、月に1度、各学級の環境委員が回収します。環境委員を中心に古紙回収をする目的を生徒に伝え、モノクロ用紙とカラー用紙を分別することで、「ごみを分別することの大切さ」を学んでいます。

また、今年度からプラスチックごみ用のごみ箱も各教室に設置しました。これにより、生徒同士で声をかける様子が見られ、お互いに分別を意識した生活を送ることができました。

「古紙回収BOX」



「プラスチックごみ用ごみ箱」



## 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

今年度は、美化活動に関して、学年を越えた形にしたことで、伸び伸びと活動する様子が見られました。また、BOXやごみ箱についても「もの」自体を新しくしたことで、生徒も興味を示し、分別を意識して生活できていました。昨年度と同じ活動ではありましたが、「仕組み」と「もの」を新しく変えたことで、生徒の意識も変わり、より一生懸命に取り組むことができました。今回の経験をいかし、生徒の実態に合った「仕組み」と「もの」を実践し、より充実した活動を目指していきたいと思えます。